

基本情報						
教科・科目		数学・数学Ⅲ（理系特進）		・授業で使用するもの テキスト、ノート、授業プリント		
担当者		吉川 拓				
評価割合（試験：試験外）		試験：6 試験外：4				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		具体的な事柄や事象についてモデル化する、一般化する、批判的に捉えるなど、事象を数学的に解釈し、数学的に表現、処理する力を培う。また、多様な事象を数学的に表現・処理するために必要な式の計算の仕組みや関数、図形の性質等についての理解を深める。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		直観や論理的な思考をもとに、事象を定義化したり定理を導いたりしながら課題の解決を図るとともに、多様な考え方について論理的整合性について議論し、その正誤について知的なコミュニケーションを通して受け入れることができる。		
		探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		社会での数学の役割に気づく、数学的な思考のよさを実感することを通して、数学の学習の意義を高めながら、自身で課題設定を行い、主体的に学習する態度を養う。		
学習情報						
月	回	単元名	単元目標（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
45	20	確率分布と統計的な推測	・確率分布の考え方を理解し、期待値や分散、標準偏差を計算できる。 ・確率分布の線形変換について、その性質を理解し期待値や分散を分散できる。 ・正規分布曲線をもとにデータを分析し、統計的に事象を推測できる。 ・仮説検定の手法について習熟し、検定の方法や有意水準によって推測の結果が異なることを理解する。	・確率やデータの分析の単元と絡めながら確率分布について学ぶ。 ・独立な確率変数について成り立つ性質について証明する。 ・確率を用いて一部分のデータから全体的な傾向を推測する方法について思考し、問題演習を重ねる。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト
6	定期試験① 令和7年 6月2日—6月4日					
67	20	入試問題演習 (数学ⅠAⅡB,Cベクトル)	・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。	・演習形式およびテスト形式で入試問題に挑む。 ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト
7	定期試験② 令和7年 7月9日—7月11日					
7~1	46	入試問題演習 (数学ⅠAⅡB,Cベクトル)	・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。	・演習形式およびテスト形式で入試問題に挑む。 ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト